



赤穂城跡 忠臣蔵ゆかりの播州赤穂へ

2023年12月15日 (金)

今年の締めくくりの城探訪は忠臣蔵、四十七士ゆかりの赤穂城です。

赤穂城は、正保2年(1645)に常陸国笠間から入封した浅野長直が近藤三郎左衛門正純に築城設計を命じ、慶安元年(1648)より13年以上に亘る歳月を費やし、寛文元年(1661)に完成した城で、近世城郭史上非常に珍しい変形輪郭式の海岸平城です。

忠臣蔵の日の翌日 12月15日に青春18切符を利用して播州赤穂へ行って来ました。



青春18きっぷ

5人そろって 大阪～姫路～播州赤穂を往復



播州赤穂駅

表門隊



播州赤穂駅構内で

裏門隊



前日に赤穂義士祭がありました



赤穂藩上水道モニュメント
天下に誇る日本三大水道の一つです



からくり時計・義士あんどん
朝9時から夜8時の間 毎正時に動きます



👉 いきつき広場



👉 息継ぎ井戸



👉 石碑

速水藤左衛門、萱野三平の両士が、早かごで主君刃傷の凶報をもって江戸より駆けつけた際、この井戸で一息ついて城内の大石内蔵助邸へ入ったといわれています。

台雲山 花岳寺



👉 山門

もと赤穂城の塩屋惣門〔赤穂市文化財指定〕



👉 本堂



👉 二代目大石名残の松



👉 義士墓所



👉 義士宝物館



👉 義士木像堂





千手堂

初代名残の松の幹（樹齢310年で枯死）



花岳寺の境内

花岳寺は赤穂藩祖浅野長直公によって正保2年健立され、元禄事件後は歴代藩主の菩提寺となっています。

浅野家と義士に関する貴重な資料を展示する宝物館、千手観音尊像・四十七士の彫像を安置する義士木像堂、義士墓所があり、元禄の昔日を彷彿させる史跡地です。



赤穂緞通工房付近の広場で

赤穂城跡



① 三の丸大手隅櫓



② 大手門



3 大手門内側（高麗門）



4 大石良雄宅跡長屋門



5 大石神社の石碑



6 大石神社の拝殿



6 辰年の絵馬



6 義士の絵馬



7 大石神社の正門



8 大石神社参道



赤穂大石神社は、大正元年、大石内蔵助良雄をはじめ、四十七義士と萱野三平を合祀して創建された。国指定史跡を一部含む境内には大石邸長屋門や庭園・義士ゆかりの武具・書画などを展示している義士宝物殿がある。また義士木像奉安殿には浅野公、四十七義士の木像が展示されている。



⑨ 二の丸庭園表門前



⑨ 二の丸庭園掲示板前



⑩ 整備中の二の丸庭園



⑪ 山鹿素行銅像



■本丸門

赤穂城本丸の表玄関となる本丸門は長方形の内柵形を備え、高麗門と櫓門の2門から構成されています。

この門は廃城後に取り壊されていましたが、発掘調査成果や絵図、古写真等を資料をもとに平成4～8年(1992～1996)にかけて復元されました。



⑫ 本丸門 (高麗門)



⑫ 本丸門前で



⑫ 本丸門 (赤穂城跡石碑)



⑫ 本丸門 (櫓門)



■本丸御殿

本丸内の大部分は、藩邸である御殿が占めていました。

御殿は、表、中奥、奥から構成され、表御殿は政務を行う公的な場、中奥は藩主の私的な場、奥は女中達の部屋として使用されました。

■本丸庭園

本丸内に造られた、池泉を中心とした庭園で、御殿南面の大池泉、中奥坪庭の小池泉、本丸北西隅の池泉があります。



13 本丸御殿跡



14 本丸庭園



赤穂城には立派な天守台がありますが、一度も天守は築かれませんでした。この天守台は築城当時のもので、1937年（昭和12年）に石垣隅角部の崩壊箇所が修復され、さらに1985年（昭和63年）には登り階段が修復整備されています。天守台の高さは9.2mあります。



15 天守台



16 天守台から見る厩口門



12 天守台から見る本丸門



13 天守台から見る本丸御殿



14 天守台から見る本丸庭園



今年もあと僅かです。今日は雨を心配しましたが、雨は降らずで良かったです。お疲れさまでした。